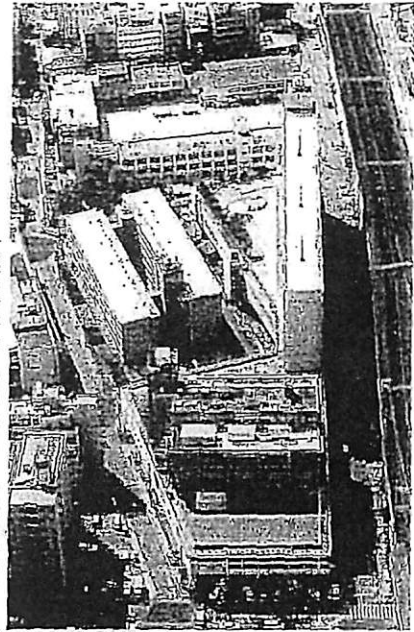


大阪市が方針

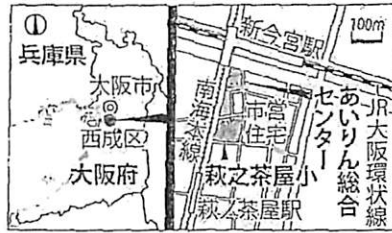
あいらんの要隣に移転

「総合センター」萩之茶屋小敷地へ

大阪市が、日本最大の日雇い労働者の街・あいらん地域(通称金ヶ崎)にある労働者支援施設「あいらん総合センター」(大阪市西成区)の移転先について、隣接する市立萩之茶屋小の敷地とする案を固



市立萩之茶屋小(奥)の敷地への移転案を市が固めた「あいらん総合センター」(手前)＝大阪市西成区で22日、本社ヘリから貝塚太一撮影



めたことが、22日分かった。漫画「じやりん子チエ」の舞台ともいわれる同小は、来春に統廃合で敷地が空く。同センターは、JR・南海新今宮駅前であり、老朽化で建て替え場所が注目されていた。住民や労働団体などと公開で議論し、この

案をたたき台の一つとしたい考え。年内合意を目指し、順調ならば再来年度以降に具体化する。

あいらん総合センターは1970年完成の13階建て。日雇い労働者に仕事を紹介する府の外部団体「西成労働福祉センター」や大阪労働局の公共職業安定所のほか、市の外部団体「大阪医療福祉センター」の病院、市営住宅(177戸)が入っている。隣にも、市が同時に移転させたい老朽化した市営住宅(108戸)がある。市の案は、萩之茶屋小の敷地に仕事紹介関

連各施設と市営住宅を別々の建物として移す。病院は近隣に置く。近年の日雇い労働者数の減少に即して各施

設の規模は縮小するが、機能は変えない。市の関係者は「地元との合意内容を最優先する。行政と町会(町内会、労働組合などが同じテーブルで地域の将来を決める画期的事業になる」と力を込める。センター跡地の用途については「10年くらいかけて、新今宮駅周辺の再開発全体の中で考えることになるだろう」としている。【鈴木英生】

訂正

22日夕刊10

面「あいらんの要隣に移転」で、大阪市があいらん総合センターの移転先を「市立萩之茶屋小の敷地とする案を固めた」とあるのは誤りでした。市側は22日の「あいらん地域のまちづくり検討会議」で、「すべては白紙」と説明しました。同会議で出た住民や労働団体などの意見を最優先に案が決まります。見出しと共に訂正します。